

## 関東学連が今後目指すべき姿(会長としての思い)

- 1) 関東学生バドミントン規約第2章目的を滞りなく達成するための組織づくりを目指す。
- 2) 全日本学生連盟を含む8学連の中で最高水準の学連を目指す。
- 3) 会長の任期3年を目処に実現を目指す

第5条 本連盟は、関東地区における学生バドミントン競技を総括代表しその活動を通じて学生バドミンの普及と競技力向上に努め、フェアプレイの精神を養い、学生相互の交流と親睦を図り、関東地区の学生バドミントン競技を発展させる事を目的とする。  
(関東学生バドミントン連盟規約 第2章目的)

- 4) 上記1) 2) 3) を達成するためには(ミッション)
  - ①自主的に考え実行出来る人材の育成
  - ②学生役員と大人の役員がお互いに有効で且つ適切な協力関係をとれる人材の育成
  - ③何でも自由に意見を言い合える環境の整備

### 【 説明 】

※最高水準とは

⇒運営、実行力で最高水準

⇒学生バドミントン界を牽引する組織

※競技力向上⇒関東を代表する選手が日本バドミントン界を牽引するような選手の育成

※普及・指導⇒一部のトップ選手・トップ大学だけでなく全登録者・登録大学への指導・普及を図る

※現実はい目の前の作業をこなすので精一杯である (別紙)

\*\*\*\*\*  
私は、目的に応えられるような組織づくりを目指し、努力し遅々としても前に進まなければならない。

しかし、

①このことは今までとは違った急激なルールの変更では為し得ない。

②時間をかけ丁寧に一つ一つ変えていく必要がある。

③独りよがりの理想追求ではなく皆で意見を言い合い実現に向かいたい

\*\*\*\*\*

※下記に通常業務を列挙したが、現実には目の前の作業をこなすので精一杯である

※外から見ていて「ああだ、こうだ」言うことは易しい

※こうあるべきと言う理想も理解出来る

※目の前にある業務を滞りなく進めることで殆ど力を使い果たしている現状

※学生は勉学と部活と学連業務とで疲弊している

※授業を休まなければならない、練習を休まなければならない

## 【 関東学連の通常業務（作業内容）の現状 】

- 1) 年2回の総会
- 2) そのための準備のための常任委員会
- 3) 年4回の関東学連主催大会の準備・運営
- 4) 年1回の主管としての第1種大会(ミックス大会)の準備・運営
- 5) 3年に1回の主管としての第1種大会(インカレ)の準備・運営

※上記に付随する業務

- 1) プロ作成→原稿作り→校正→配布作業等
- 2) 名簿作成→膨大な数のデータ整理(追加、削除、変更等多々ある)
- 3) 会計作業→2)に付随してくる
- 4) 体育館の確保→定常的に公的施設を確保することは奇跡に近い
- 5) 種々クレーム処理→学生から、監督・コーチからのクレームはかなりある
- 6) ホームページの維持管理
- 7) その他

※数え上げたらきりが無いほどの作業がある

※現状はこれを超えることだけで精一杯である

※規約に大人の役員含めることによりスムーズな業務体系を確立したい

※専門委員会(部)を機能させること(役割分担)によりスムーズな業務体系を確立したい

※各学連の現状

⇒どの地区の規約も同じような内容を含んでいる

⇒唯一、関西学連のみ「国際親善に寄与する」という文言あり

⇒中部学連にはホームページはないようである

⇒中四、九州、東北、北海道学連には規約が見当たらない